

# ふだんのくらしのしあわせ

 社協だより Vol.123

令和2年11月号

電話で『振り込んで』  
と言われても、  
振り込んじゃダメ！  
すぐに家族、知り合い、  
警察などに相談を！



『オレオレ詐欺に騙されないで!!』 (上演)はつらつ健康劇団

はつらつ健康劇団とは……

演劇を通じて、高齢者の生活や健康増進、社会の問題をわかりやすく啓発しています。

## お知らせ

- ・ 下田市地域福祉活動計画（令和2年～6年）
- ・ 平成31年度（令和元年度）事業報告
- ・ 下田市社会福祉協議会 会費にご協力ありがとうございます
- ・ 教育支援資金貸付（静岡県社会福祉協議会）のご案内
- ・ 『みんなが誰かのために』寄付をくださったみなさま
- ・ 下田市社会福祉協議会 求人情報



# 『みんながつながり、支え合う、笑顔があふれるまち下田』 第4次下田市地域福祉活動計画（令和2年度～6年度）の概要

下田市の人口は21,080人、高齢化率は41.8%（いずれも令和2年3月31日現在）となっており、人口減少と少子高齢化が続いています。少子高齢化や核家族化の進行とライフスタイルの多様化により、地域社会は大きく変化しています。高齢や障害あるいは病、子育てに関する福祉へのニーズが増大するなかで、虐待、いじめ、失業などに起因する生活困窮の問題が顕著化しています。これらの問題は個人の責任ではなく、他人事の問題でもありません。地域社会全体の問題として捉え、解決を図るべき問題です。

年齢を重ねても、障害や病があっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことは地域住民みんなの願いです。こうしたまちづくりを実現するためには、地域住民一人ひとりが地域と向きあい、互いに支えあい（我が事・丸ごとの地域づくり）、行政や社会福祉協議会をはじめとする社会福祉法人、福祉関係者やボランティア企業・事業者、関係機関とともに連携（包括的な支援体制の構築）し、「地域共生社会」の実現に向けて取り組むことが必要です。共生（共に新しきものを生む）社会に向け、私たちが自分たちの地域の生活課題を自分たちの問題として具体的に連携・協働し、解決に向けて協議する住民主体のまちづくりを目指します。

## 基本目標①

### 地域と向き合い、支えあう「心」を育む

- ・家庭、職場やご近所で地域の今や生活の困りごとについて話し合う機会を増やしましょう。
- ・自治会や学校の行事、ボランティア活動に参加し、参加するときは周りの人にひと声かけてみましょう

#### 《社会福祉協議会の取組み》

- 地域に根ざした福祉教育を推進します。
- 継続した住民同士の話し合う場（住民懇談会等）づくりを進めます。
- さまざまな人の暮らしと支えあいを確認する機会づくりに努めます。
- 誰もが参加しやすい居場所の開設を目指します。
- 地縁を大切に「顔の見える関係づくり」を進めます。
- 『じぶんの町を良くする仕組み』赤い羽根共同募金運動の推進に努めます。

## 基本目標②

### 地域を理解し、支えあう「人」を育てる

- ・「自分にもできそう」「やってみたい」と考えられるボランティア活動を始めてみましょう。
- ・あらゆる世代が連携して地域や学校の行事に参加・協力しましょう。

#### 《社会福祉協議会の取組み》

- ボランティア団体や老人クラブ等を支援し、地域力の向上を図ります。
- 地域づくりを担う人材の育成と活動の支援を行います。
- 生活のしづらさを抱える住民を支援する人材を育成します。



## 基本目標③

### 地域の問題を把握し、 支えあう「仕組み」をつくる

- ・普段から地域の行事、気軽に参加することができる居場所に積極的に参加し、周りの人にも声をかけましょう
- ・困りごととは身近な人に相談し、また身近な人の相談相手になる関係を作りましょう。
- ・身近な地域で、子育て世帯、高齢者、認知症の人、障害がある人、ひとり暮らし世帯等の見守り・声かけや支えあいをしましょう。

#### 《社会福祉協議会の取組み》

- “顔の見える”関係づくりの促進のための居場所やサロン活動の立ち上げを支援します。
- 小学校区単位での地域支えあい活動の組織化を図ります。
- 子どもの居場所と学びの場の支援を行います。



## 基本目標④

### まちづくりの理念を共有し、 支えあう「環境」を整える

- ・子どもたちの安全、不審者への対応、高齢者を狙う悪質商法や消費者被害の防止のために地域ぐるみの防犯・安全活動を進めましょう。
- ・障害や病を抱えていても、ひとり暮らしや高齢者世帯であっても、できる限り自分の意思が尊重される生き方とそれを支える地域にしましょう。
- ・虐待やDVが重大な人権侵害であることを理解し、根絶にむけた気持ちをもちましょう。

#### 《社会福祉協議会の取組み》

- 身近な場所で集うことができる生きがいの場の開発に取り組みます。
- 地域の居場所活動を通じた新たな社会資源の創出に努めます。
- 住民参加型サービスを作り出すための支援体制を構築します。
- 日常生活の利便性向上のため、移動支援・買い物支援を検証します。
- 地域課題の把握、制度の狭間にある福祉課題解決に向けた社会福祉法人の協働を推進します。
- 権利擁護に関する相談支援体制の強化を図ります。
- 円滑な権利擁護支援のためのネットワーク構築を進めます。
- 市民後見人・法人後見支援員・生活支援員の育成を行います。





ひよこサロン

福祉会館ふれあいサロン

Boccia教室

車いす体験

赤ちゃんふれあい体験

救命救急訓練

## 平成31年度(令和元年度) 事業報告

### 1. 会費の納入状況

①普通会費（1世帯 500円/年）	3,008,676円
②賛助会費（一口 1,000円/年）	50,000円
合計 3,058,676円	

### 2. 寄付金

#### (1) 善意銀行

金銭預託 1 件、物品預託 1 件 計64,000円

#### (2) 社会福祉協議会へ一般寄付

金銭寄付13件、物品寄付 6 件 計702,412円

### 3. 第4次下田市地域福祉活動計画の策定

地域住民と生活課題や目指す地域の姿について話し合い、人と人、人と資源がつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく地域計画を策定するための住民懇談会を開催しました。

勉強会	5/27	みんなで一緒に考える福祉のまち
稲生沢地区	6/13	稲生沢公民館にて
浜崎地区	6/13	須崎漁民会館にて
大賀茂地区	7/4	大賀茂公会堂にて
朝日地区	7/4	朝日公民館にて
稲梓地区	7/11	稲梓基幹集落センターにて
白浜地区	7/11	原田公民館にて
下田地区	7/18	下田市総合福祉会館にて

### 4. 生活支援体制整備事業

主に高齢のみなさまを対象に、地域での支え合い、健康づくり、介護予防の取り組みの支援、生活支援サービスの充実に取り組み、住み慣れた地域で自分らしく日常生活を営むことができるよう、さまざまな機関と協力して医療・介護・福祉が一体となった地域づくりを目指します。

稲生沢地区	①7/29②2/26	稲生沢公民館にて
浜崎地区	①7/31②2/25	須崎漁民会館にて
大賀茂地区	①8/29②2/25	大賀茂公会堂にて
朝日地区	①9/24②2/21	朝日公民館にて
稲梓地区	①8/28②2/26	稲梓基幹集落センターにて
白浜地区	①9/26②2/21	原田公民館にて
下田地区	①9/27②2/20	下田市総合福祉会館にて

### 5. 小地域福祉活動推進

小学校区にて気軽に参加できる場所づくり活動の支援をしています。

#### (1) 福祉会館サロン

日 時	場 所	参加者
11/24(日)	合唱、頭の体操・健康体操	59名

12/15(日)	合唱、頭の体操・健康体操	50名
1/26(日)	豆まき、合唱、読み聞かせ	56名
2/16(日)	あやとり、合唱、健康体操	60名

### 6. 地域福祉活動計画推進

#### (1) 子育て支援

子育て中のお母さんと子どもたちが自由に過ごせる居場所、情報交換の場を開催しています。

①子育てサロン（道の駅開国下田みなと4階）

開催日	来場者数	開催日	来場者数
4/18(木)	29名	10/17(木)	19名
5/16(木)	48名	11/21(木)	41名
6/20(木)	40名	12/19(木)	28名
7/18(木)	46名	1/16(木)	31名
8/8(木)	24名	2/20(木)	30名
9/19(木)	45名	合計381名	

#### ②移動型子育てサロン

開催日	場所	内容	参加者
4/27(土)	稲生沢小学校体育館	ミニ遊・VIVA!	74名
6/22(土)	朝日公民館	ミニ子育てフェスタ	73名
9/14(土)~16(月)	道の駅開国下田みなと	展示会&ワークショップ	1,291名
10/20(日)	下田市民文化会館	ふれあい広場 ひよこルーム	101名
11/23(土)	下田小学校体育館	遊・VIVA!村の村まつり	577名
1/18(土)	下田小学校体育会	伝承遊び	81名

#### ③小学生ボランティア養成講座

8/4(日)『見えないってどんなこと?』

協力：下田アイフレンズ

### 7. ボランティアセンター事業

下田市のボランティア団体相互の親睦と協力を目的として運営しています。

#### (1) 下田市ボランティア連絡協議会の運営

〈加入団体数〉30団体（計463名）

〈定例会〉年4回（4月、7月、9月、1月）

・5/18(土)・19(日) 東日本大震災復興支援活動

・6/10 ボランティア研修旅行

・11/16 ボランティア入門講座

・12/6 赤い羽根街頭募金

#### (2) 個人ボランティア登録者 255名

#### (3) ボランティアコーディネート実績

福祉講座指導	託児	児童関係	イベント補助
47件	51件	0件	2件
障害者関係	子育て関係	高齢者関係	
3件	1件	13件	合計117件

### 8. 災害ボランティアコーディネート啓発活動

毎月第2火曜日	スキルアップ訓練/下田市民中央公民館
5/12(日)	『もしも』の時の炊き出し訓練~日赤包装食で作る非常食
9/10(火)	春日山避難路を歩いてみよう&非常時持ち出し袋点検
11/17(日)	災害ボランティア本部設置訓練/下田市本郷公民館にて 〈協力〉下田災害ボランティアコーディネートの会、

11/17(日)	下田市防災安全課、静岡県賀茂地域危機管理
1/18(土)・19(日)	賀茂6市町合同災害ボランティアコーディネーター養成講座 〈共催〉賀茂6市町社会福祉協議会、静岡県賀茂地域局 NPO法人賀茂災害ボランティアコーディネートの会

### 9. ふれあい広場事業

誰もが生き生きと安心して暮らせる福祉のまちづくり・仲間づくりの場として、第38回下田市ふれあい広場（主催：ふれあい広場実行委員会）を関係36団体の協力を得て開催しました。

・令和元年10月20日（日）下田市民文化会館・下田市総合福祉会館

### 10. 福祉教育の推進

#### (1) 市内小中学校総合学習等での教育

学校名	日数	学年	延人数	内容
稲 梓 中 学 校	5回	2・3年	90名	車いす体験、ユニバーサルデザイン赤ちゃんふれあい体験、視覚障害
稲生沢中学校	2回	2年	54名	高齢者疑似体験
下 田 中 学 校	14回	1年	613名	視覚障害、高齢者疑似体験車いすでの生活、点字、ポッチャ体験、あかちゃんふれあい体験手話、認知症について、高齢者疑似体験、職場体験、ユニバーサルデザインマップ、
稲 梓 小 学 校	2回	5年	24名	車いす体験、見えない生活、ユニバーサルデザイン
稲生沢小学校	2回	4年	56名	聞こえない生活、手話、点字体験
朝 日 小 学 校	5回	1・3・4年	113名	聞こえない生活、手話、カプラブロック体験
大賀茂小学校	3回	4年	18名	見えない・聞こえない生活、手話、点字体験
浜 崎 小 学 校	4回	5年	66名	見えない・聞こえない生活、点字体験
下 田 小 学 校	1回	保護者	30名	聞こえない生活、聴導犬について
朝 日 小 学 校	1回	1年・保護者	28名	見えない生活
下 田 幼 稚 園	1回	幼児・保護者	51名	聞こえない生活、聴導犬について

#### (2) 中学・高校生夏休みボランティア体験学習

市内中学生、高校生が各自希望する施設にて2～3日間のボランティア実習を行いました。

参加生徒数181名

〈生徒受入協力先〉	
すぎのこ作業所	ワークあおぞら
特別養護老人ホーム 梓の里	デイサービスセンター 梓の里
介護老人保健施設 みくらの里	デイサービスセンター みくらの里
下田市デイサービスセンター	下田認定こども園
下田保育所	稲生沢保育園
ひかり保育園	稲生沢小学校放課後児童クラブ
下田小学校放課後児童クラブ	

### 11. 生活困窮者自立支援法に基づく事業

#### (1) 自立相談支援事業

生活困窮者の複合的な生活課題を、関係機関との連携支援により包括的に対応しています。

新規相談受付件数	49件
プラン作成件数	10件
就労支援対象者数	3名

#### (2) 家計改善支援事業

家計状況を「見える化」し、相談者の家計管理と生活再生を支援しています。

相談件数	62件
うち生活福祉資金利用世帯	35件

※生活福祉資金貸付制度（静岡県社会福祉協議会から事務委託）  
・本年度新規貸付世帯 6 世帯

#### (3) 下田市夏休み学習支援事業

小・中学生へ宿題のサポートと学習の定着、意欲の喚起に向けた支援を実施しました。

〈対象〉小学校4～6年生

〈日程〉夏休み期間中に12日間

〈協力〉社会福祉法人 梓友会、下田市教育委員会

実施日	会場	参加生徒延人数	
		小学校	中学生
7/31・8/1	梓の里	24	6
8/2・8/3	みくらの里	12	5
8/6・8/7・8/8・8/9	下田市総合福祉会館	47	14
8/20・8/21	柿崎公民館	21	4
8/22・8/23	稲生沢公民館	24	2
12日間参加者計		128	31

#### (4) 子どもの学習・生活支援事業

子どもへの学習支援や仲間との出会い活動できる居場所づくりを実施しました。

①9/18 ②10/16 ③11/20 ④12/18 ⑤2/19 稲生沢公民館にて

### 12. 日常生活自立支援事業

認知症や知的・精神障がい等により、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方を対象に、福祉サービスの利用援助を実施しています。

（単位：件）

福祉講座指導	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・実働件数	56	246	142	117	561
新規契約締結	2	7	5	4	18

### 13. 成年後見事業

認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方について、本人の権利擁護を図るため、成年後見制度等に関する相談支援、市民後見人の育成を行いました。





輪投げ大会

赤い羽根共同募金

手話奉仕員養成講座

### (1) 法人後見事業

(単位：件)

成年後見制度に関する相談	9
日常生活自立支援事業に関する相談	8

### (2) 市民後見人の育成

①市民後見人養成講座の開催（10日間）

〈受講者〉賀茂地区の住民11名

成年後見制度・各論	市民後見概論
民法	刑法
高齢者施策	対象者理解
医学の基礎知識	障害者施策
対人援助の基礎	就任時の実務
家庭裁判所の役割	成年後見人の実務
報酬付与申立てと後見終了時の実務	

### 14. 赤い羽根共同募金

平成30年度にみなさまからいただいた募金を、以下のとおり配分しました。

配分先	団体数等	金額(円)
福祉教育推進事業		300,000円
子育て支援事業		215,673円
下田市内小中学校特別支援学級等	6 学級	120,000円
寝たきり高齢者在宅介護世帯見舞品(介護用品)		230,000円
災害ボランティア本部準備・訓練事業		150,000円
下田市ボランティア連絡協議会 加盟団体活動助成		80,000円
下田市内青少年育成会	6 育成会	90,000円
下田市老人クラブ連合会		80,000円
下田市手をつなぐ育成会		80,000円
下田市身体障害者福祉会		80,000円
下田市女性の会		50,000円
遊・VIVA! ネットワーク		50,000円
大賀茂ほたる便		30,000円
はつらつ健康劇団		30,000円
ひなたぼっこ		30,000円
わらいの輪		30,000円
しもだ子育て応援隊「ぼっぼ」		50,000円
にこにこ		50,000円
賀茂地区里親会		20,000円
下田アイフレンズ		30,000円
精神障害者家族会あしたば会		30,000円
下田災害ボランティアコーディネートの会		30,000円
NPO法人賀茂災害ボランティアコーディネートの会		30,000円
合計		1,915,673円

### (2) 歳末たすけあい配分状況

配分先	件数	金額(円)	備考
歳末生活困窮世帯支援	45世帯	519,600円	113名
知的障害・身体障害者(児)高齢者施設入所者見舞金	75名	254,400円	
伊豆つくし学園	64名	75,000円	クリスマス会運営支援
福祉関係団体活動助成	1 団体	200,000円	すぎのご作業所
計		1,049,000円	

### 15. 受託事業

#### (1) 高齢者等給食サービス

ひとり暮らしの高齢者等へ配食を行い、利用者の健康維持と安否確認を行っています。

年間延配食数	年間延ベサービス回数
3,608食	297回

#### (2) 家族介護支援事業

高齢者を介護している家族や援助者を介護から一時的に開放し、気持ちをリフレッシュしていただくことを目的としています。

実施日	内容
5/23(木)	ポールウォーキング体験教室
5/30(木)	小さなお茶会
9/25(水)	日帰りリフレッシュ旅行
10/30(水)	家庭でできる防災対策
11/20(水)	小規模多機能型居宅介護みくらの里見学会

#### (3) 手話奉仕員養成講座(入門過程)の実施～1市5町対象

聴覚障害と聴覚障害者の生活についての認識を深め、日常生活を行う上で必要な手話表現等を習得しました。

〈講座内容〉全25講座(6/5～11/6の毎週水曜日)

〈参加者〉25名

〈講師〉賀茂地区手話奉仕員養成講師団

### 16. 居宅介護支援事業

(1) 要支援・要介護の認定を受けた方へ自立支援ケアプラン作成・サービス調整を実施しています。

(単位：件)

区分	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延利用者数	200	428	553	376	135	86	1,778

(2) 要介護認定調査 57件

### 17. 通所介護事業

下田市デイサービスセンターにおいて、要支援・要介護の自立支援のための入浴・食事等の日常生活上の支援を実施しています。

(単位：件)

区分	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延利用者数	846	1,389	1,195	1,963	39	232	5,664

### 18. 訪問介護事業

要支援・要介護の認定を受けたみなさまへ身体介助・家事援助を実施しています。

(単位：件)

区分	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延利用者数	846	1,389	1,195	1,963	39	232	5,664

### 19. 障害福祉サービス事業

(単位：件)

居宅支援事業	移動支援事業
181	17

## 平成31年度（令和元年度）一般会計収支決算

平成31年4月1日～令和2年3月31日の一般会計決算は下記の通りです

### 事業活動収支計算書

(単位：千円)

		勘定科目	31年度決算額	30年度決算額	増減
サービス活動増減の部	収益	会費収益	3,059	3,166	-107
		寄付金収益	766	857	-91
		経常経費補助金収益	29,235	25,800	3,435
		受託金収益	31,376	26,321	5,055
		事業収益	3,030	4,251	-1,221
		負担金収益	0	144	-144
		介護保険事業収益	97,569	99,072	-1,503
		障害福祉サービス等事業収益	2,901	3,352	-451
		その他の収益	208	208	0
		収入計	168,144	163,171	4,973
	費用	人件費(引当金等を含む)	118,818	117,342	1,476
		事業費	27,906	28,355	-449
		事務費	3,485	2,328	1,157
		共同募金配分金事業費	3,310	3,376	-66
		助成金費用	196	204	-8
		負担金費用	71	46	25
		減価償却費	2,226	1,921	305
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-577	-602	25
		徴収不能額	0	0	0
		徴収不能引当金繰入	25	0	25
その他の費用	0	0	0		
支出計	155,460	152,970	2,490		
サービス活動増減差額		12,684	10,201	2,483	
サービス活動外増減差額の部	収益	受取利息配当金収益	153	2	151
		その他のサービス活動外収益	719	523	196
		収入計	872	525	347
	費用	その他のサービス活動外費用	0	0	0
		支出計	0	0	0
		サービス活動外増減差額	872	525	347
経常収支差額		13,556	10,726	2,830	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	132	118	14
		固定資産受増額	0	3,426	-3,426
		その他の特別収益	494	494	0
		収入計	626	4,038	-3,412
	費用	固定資産売却損・処分損	0	0	0
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
		国庫補助金等特別積立金積立額	132	118	14
		支出計	132	118	14
		特別増減差額	494	3,920	-3,426
		当期活動収支差額		14,050	14,646
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	99,582	86,938	12,644	
	当期末繰越活動増減差額	113,632	101,583	12,049	
	基本金取崩額	0	0	0	
	基金取崩額	0	0	0	
	その他の積立金取崩額	10,964	0	10,964	
	その他の積立金積立額	15,117	2,001	13,116	
	次期繰越活動増減差額	109,479	99,582	9,897	



## 社会福祉協議会会費へのご協力ありがとうございます。

社会福祉協議会は地域のみなさまに支えられ、福祉・保健・介護の関係者やボランティアに広く開かれた民間非営利組織です。地域が抱えている問題や福祉制度の狭間にある課題へみんなで向き合い、地域性を活かしたサービスづくりに取り組んでいます。本年も市内行政区の区長様を通じて、地域の多くのみなさまが会費として一世帯あたり年額500円のご協力をいただきました。これからもみなさまと力を合わせて活動していくために、社会福祉協議会の活動へご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

〈令和2年度 下田市社会福祉協議会一般会費納入額として〉合計2,190,500円（1世帯500円×世帯数）

## ～他制度から入学金・授業料の借入れが困難な世帯のみなさまへ～ 教育支援資金（静岡県社会福祉協議会生活福祉資金）のご案内

高等学校・大学等に進学を希望されるお子さんがいる世帯で、他制度から入学金・授業料等の借入れができない世帯を対象に、教育資金の貸付を行っています。申込から借入れまでに1ヶ月半程度を要することから、事前申込も可能です。受験校が決まりましたら入学金等納入め切日をご確認のうえ、お早めにご相談ください。

1. 対象 下田市内に在住で、世帯収入が基準以下で且つ他制度による借入れが困難な世帯

2. 貸付金額（限度額）

学校	教育支援費(月額)	就学支度費
高等学校	3.5万円	50万円 (入学時のみ)
高等専門学校	6万円	
短期大学・専修学校 (専門課程)	6万円	
大学	6.5万円	

まずは在学学校にご相談ください

3. お申込みにあたっての留意点

- ・利用目的に沿っていなければ貸付できません。
- ・既に支払済みの入学金、学費、経費等は対象外となります。
- ・借受人は入学者ご本人です。世帯の生計中心者が連帯借受人となります。(借受人が未成年の場合は、親権者の同意が必要です)
- ・原則、連帯保証人が必要になります。
- ・民生委員、児童委員との面接があります。
- ・返済期限を過ぎると、延滞利子が発生します。
- ・実施主体は静岡県社会福祉協議会です。

4. 他制度の例として

『日本学生支援機構』『母子寡婦福祉資金』『国の教育ローン』『県教育奨学金』『静岡県育英会』など

## 「みんなが誰かのために」（令和2年4月～令和2年10月）

下田市社会福祉協議会へ寄付をくださったみなさまです。心あたたまるご寄付ありがとうございました。みなさまの気持ちを大切に活かします。

- ・外岡秀子 様/手作りお手玉 50個
- ・安井茂夫 様/使用済切手
- ・鳥原 茂 様/ブルタブ
- ・下田市赤十字奉仕団 様/雑巾100枚
- ・下田市指定水道工事人協同組合 様/現金 30,000円
- ・株式会社 伊鈴商会 様/粳米 約1,500kg
- ・株式会社 幹洋堂 様/使い捨てマスク 5,000枚
- ・下田市福祉事務所 様/使用済切手 (順不同)

## 下田市社会福祉協議会求人のご案内

職 種	地域福祉事務職員	デイサービス相談員兼介護員	訪問介護員サービス提供責任者	訪問介護員
業 務	地域福祉を推進する業務全般	生活相談員および介護業務	サービス提供責任者として訪問介護業務全般	訪問介護業務
雇用形態	正職員	嘱託職員	嘱託職員	パートタイム
雇用期間	定めなし	年度毎の1年更新	年度毎の1年更新	年度毎の1年更新
資 格	・昭和56年4月2日以降に生まれた人 ・社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事いずれかの資格を有する人 ・普通自動車免許を有する人	・介護福祉士 ・普通自動車免許を有する人	・介護福祉士 ・普通自動車免許を有する人	・ヘルパー1・2級または介護職員初任者研修終了者 ・普通自動車免許を有する人
給 与	179,500円/月～(賞与有り)	161,700円/月～(賞与有り)	161,700円/月～(賞与有り)	時給1,200円～
応募め切	令和2年12月15日必着	随時	随時	随時
問 合 せ	係採用担当 ☎0558-22-3294			